

広陵町生活交通ネットワーク計画（案）パブリックコメントの実施結果

No.	項目	ご意見	ご意見に対する町の考え方（案）
1	36・37 ページ 5-3 実施する事業	<p>計画書の36・37ページ「5-3 実施する事業」に対する意見です。</p> <p>今回、広陵元気号の再編にあわせて、有料化し、「基本運賃、大人1乗車100円」とのことですが、受益者負担がなぜ100円なのかの根拠を教えてください。安すぎませんか。単にアンケート調査結果によるもので、きちんとした経理の収支を計算しているとは思えない額です。</p> <p>私は、平尾に住んでいますが、高田駅まで奈良交通のバスで行く場合、片道230円もかかります。以前、今後も奈良交通のバスの利用者が少なくなると、廃止になるかもしれないと聞いたことがあります。しかし、今はいっそのこと、廃止になればと思っています。なぜなら、廃止になれば、奈良交通のバスで230円もかけて高田駅まで行くことになるのに対し、廃止になれば、役場は広陵元気号でわずか100円で高田駅まで行くようにしてくれるからです。</p> <p>※1ページの記載からも明らかです。「廃止路線やバス運行休止路線地域を中心として、平成21年4月から、コミュニティバス「広陵元気号」の運行を開始しました。」</p> <p>平尾に住んでいる私たちは、高い奈良交通のバスを使って高田駅まで行き、逆に南郷とか古寺とかに住んでいる人は現在は無料で、今後も100円だけ払って広陵元気号で高田駅までいけるといのはあまりにも不公平ではないでしょうか。不動産の価値にも影響します。同じ広陵町の間人です。住んでいる地域によって、同じ目的地である高田駅までの個人負担のお金が違うのは納得できません。一層、私たち平尾の間人も奈良交通のバスを利用しないで、廃止に追い込み、その後役場の元気号で高田までいけるようにしてもらったほうがメリットがあると考えてしまいます。</p>	<p>ご承知のとおり、広陵元気号は、路線バス廃止地域を補完するとともに在来地域と真美ヶ丘ニュータウン間の移動手段の確保のために、平成21年4月から試行運行として実施しております。</p> <p>従前、公共交通を必要とされている方から改善を求める意見を多数いただいております。全住民にとって真に必要なとされる新公共交通システムを構築するため、平成26年3月から広陵町地域公共交通活性化協議会を再編し、広陵元気号の見直しを含めた、広陵町生活交通ネットワーク計画を策定しており、案をお示しさせていただきました。</p> <p>計画を策定するにあたり、ご意見にもありますように住民2,500名を対象にしたアンケート調査結果はもちろんのこと、広陵元気号の運行時間や運行間隔、各種ICカードの利用など、民間バス会社とのサービス格差や近隣市町の状況などを踏まえ、受益者負担の考えから料金100円となったものです。なお、料金100円はあくまで案でありますので、引き続き、当該活性化協議会において協議し、来年度策定予定の運行計画の中で、正式にお示しさせていただきます。</p> <p>ルート案につきましても、「平尾」から「さわやかホール」または「役場」で乗り換えていただくことにより、大和高田駅まで行くことができるものになっております。今後ともより良い公共交通サービスの提供に取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。</p>